

NEW

電子オルガン専攻

模倣楽器として開発された電子オルガンが、楽器の特性を活かした緻密で個性ある音楽表現が可能な楽器にまで成長した現在の状況を踏まえ、楽器の明確な役割と、作曲・編曲・即興演奏を根幹とする深い音楽知識を習得します。電子オルガンの語法の基礎をしっかりと学習し、クラシック音楽とジャズ・ポピュラー音楽双方の専門性を高め、応用発展させることにより、多様な音楽的要望に対応できる人材を育成します。将来の進路の幅を広げ、社会の中で実践できるよう、演奏面に加え、音楽を総合的に企画し、プロデュースできる可能性を高めます。



Pick up

クラシック基礎演習

電子オルガンを演奏する上で必要な作曲、編曲の基礎を学びます。また、企業グレードの筆記、ソルフェージュ科目に対応します。クラシックの楽曲に対する理解を深め、より完成度の高い演奏を身に付けることができます。

ジャズ・ポピュラー基礎演習

ジャズ・ポピュラー音楽を編曲し、演奏するための基礎的な理論及び演奏方法を学びます(コードネーム、ダイアトニックコードとスケールなど)。

レパートリー実践

各々の企業演奏系グレードに対応した授業です。様々なジャンルのレパートリーを習得することで、卒業後の音楽教室就職の際にも役立ちます。

電子オルガンアンサンブル

ジャズやラテンの名曲を中心に、各々のジャンルに必要なリズム感を養います。また、クラシック音楽作品の変遷をたどりながら、音楽表現の幅を広げ、演奏能力を高めます。

学びのポイント

Point 1
クラシックとジャズ・ポピュラーの基礎を1・2年次に、応用を3・4年次に受講。幅広い分野の編曲や作曲を深く学べます。

Point 2
基礎演習・応用演習共に即興演奏を取り上げ、指導者やプレーヤーとして社会で活躍できる力を身に付けます。

Point 3
音楽ジャンルや得意分野も様々な教員が徹底指導。幅広い表現能力を身に付けます。

Faculty's voice

個性を磨きながら、高い専門性を身につけてほしい。

電子オルガンの魅力は、様々な機能を使って幅広い表現ができること。たとえば、足のペダルで強弱を付けながら、鍵盤のタッチでも変化を付けることが可能です。電子オルガン特有の機能で、様々な楽曲を表現することができます。そのため演奏に求められるのは、自由に電子オルガンを操る感性。編曲力を身につければ、楽曲演奏はもちろん、即興演奏や作曲にまでスキルの幅を広げていくこともできます。

電子オルガン専攻では、ただ弾けるだけでなく、個性を磨きながら専門性を高められるように、ゆ

とりを持って指導していきます。技術だけが高めるのではなく、音楽の背景や理論を学びながら、電子オルガン奏者としての自分を高めていくことができます。

また、4年間という時間のなかで様々なジャンルの楽曲に触れ、今まで気づかなかった自分の適性に出会うことがあるかもしれません。

担当教員の得意分野も様々なので、学生たちには「電子オルガンで何をしたいのか」を意識しながら学んでもらいたいと思います。



音楽学科/電子オルガン専攻
森 宏 教授